

企画展

Noh Masks and Costumes of the Ikeda Daimyo Families

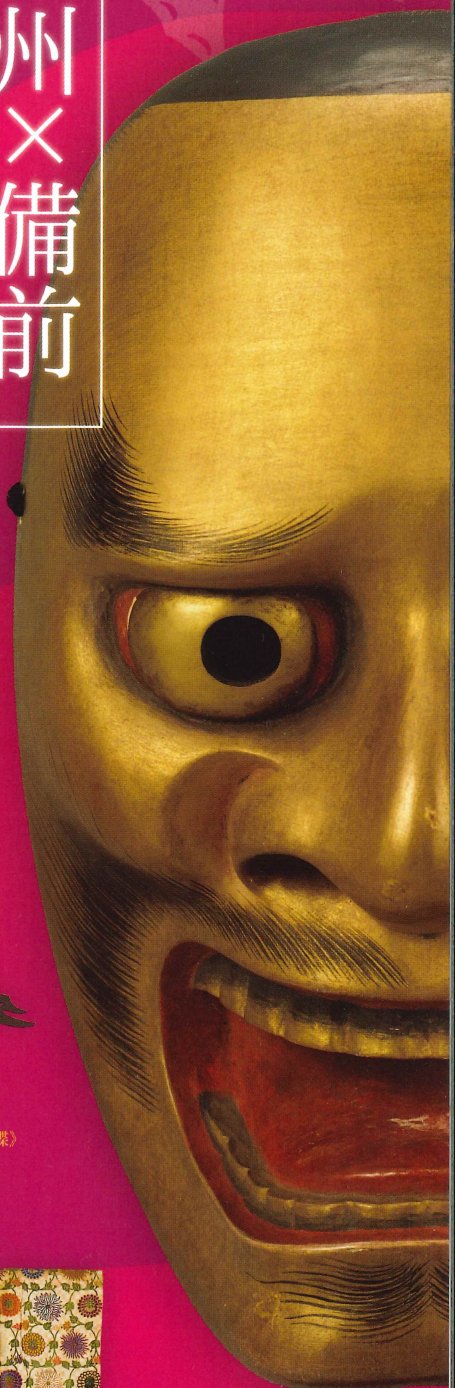
池田家の 能面・能装束

因州×備前

大名家の能楽コレクション、大行列



能面《万姫》



能面《黒髭》



自在置物《蝶》



能装束《白地石畳菊唐草模様唐織》
(池田治政所用)

2021.2.2^{TUE} — 3.28^{SUN}

大倉集古館 1F・2F展示室

| 開館時間 | 10:00~17:00 (入館は16:30まで)

| 入館料 | 一般 1,000円 大学生・高校生 800円 中学生以下無料

| 休館日 | 毎週月曜日(2月8・15・22 / 3月1・8・15・22)

※会期中に一部展示替いたします。

※新型コロナウイルスの影響により、会期等が変更される場合は、当館WEBサイトでお知らせいたします。

※同会期中のリピーターは200円引き(前回ご来館のチケットをご持参ください)

※20名様以上の団体は100円引き ※障がい者手帳、被爆者手帳をご提示の方とその同伴者1名は、無料

主催:公益財団法人 大倉文化財団・大倉集古館

協力:株式会社ホテルオークラ東京、特種東海製紙株式会社、大成建設株式会社

大倉集古館
OKURA MUSEUM OF ART

因州×備前

池田家の能面・能装束

大名家の能楽コレクション、大行列



萌葱地輪宝模様袷袴衣

室町時代初期、猿楽を原型として大成された能楽は、今なお演じられている日本の貴重な伝統芸能です。近世以降は幕府や大名の保護を受けて、「武家の式楽」として重んじられ、発展してきました。当館では、因州(鳥取藩)池田家旧蔵の「能面」と、備前(岡山藩)池田家旧蔵の「能装束」を多数所蔵しています。なかでも名品を選び、近世大名家による能愛好の一端を展覧いたします。能小道具や、繁岡鑒一筆の能画、有馬伯爵家旧蔵と伝わる狂言面など、能楽を彩る幅広い作品群もあわせてご紹介いたします。当館の能楽コレクションを通して、我が国に花開いた伝統の美と幽玄の世界をお楽しみください。



紅地龍目牡丹模様唐織



万福



黒熊



郎郎男



紫地扇面藤柴垣模様長絹

紅白段葉平菱菊模様唐織
(3/2~3/28展示)

茶地入子菱三盛木瓜紋厚板(子方)



鬱金地垣夕顔模様縫箔



黒地金銀色蝶時絵袴小刀



団扇



狐

ギャラリートーク

| 日 時 | 2021年2月16日(火)、3月9日(火) 各14:00開始
| 会 場 | 大倉集古館 展示室
| 料 金 | 無料 ※申し込み不要、「因州×備前 池田家の能面・能装束」展の入場券が必要です
○当館学芸員が展示作品の解説を行います。

主な出展作品

能装束《萌葱地輪宝模様袷袴衣》/1領 江戸時代・18世紀
能装束《紫地扇面藤柴垣模様長絹》/1領 江戸時代・19世紀
能装束《紅地龍目牡丹模様唐織》/1領 江戸時代・18世紀
能装束《紅白段葉平菱菊模様唐織》/1領 江戸時代・18世紀 (3/2~3/28展示)
能装束《茶地入子菱三盛木瓜紋厚板》(子方)/1領 江戸時代・18世紀
能装束《鬱金地垣夕顔模様縫箔》/1領 江戸時代・18世紀
能面《万福》/1面 「出目半蔵」朱漆書 江戸時代・18世紀
能面《黒熊》/1面 「出目満昆」焼印 江戸時代・18世紀
能面《郎郎男》/1面 「出目半蔵」朱漆書 江戸時代・18世紀
能小道具《黒地金銀色蝶時絵袴小刀》/1口 江戸時代・18世紀
能小道具《団扇》/1本 江戸時代・18世紀
絵画《繁岡鑒一筆 能画《竹生島》》/1面 昭和51年(1976)頃
狂言面《狐》/1面 江戸時代・18世紀

※表記のないものは全期間展示。
※展示作品・展示期間は、やむを得ない事情により予告なく変更される場合がございます。



公益財団法人 大倉文化財団・大倉集古館
TEL:03-5575-5711(代表)
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3
(The Okura Tokyo前)
<https://www.shukokan.org/>

大倉集古館
WEBサイト

東京メトロ
○日比谷線「神谷町駅」4b出口より7分
○日比谷線「虎ノ門ヒルズ駅」A1またはA2出口より8分
○南北線「六本木一丁目駅」改札口(泉ガーデン方面)より5分
○銀座線・南北線「溜池山王駅」13番出口より10分
○銀座線「虎ノ門駅」3番出口より10分

アクセス